

PL-8

1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1	製品識別名	
	製品名	PL-8
	化学物質名	混合物。
	CAS 番号	混合物。
	EINECS 番号	混合物。
	REACH登録番号	割り当てられていない。
1.2	化学品の推奨用途と使用上の制限	
	記載されている用途	PhotostressR 測定結果
	~に対して助言された用途	専門家向けのみ。
1.3	供給者の詳細	
	会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire RG24 8FW United Kingdom
	電話	+44 (0) 1256 462131
	F a x	+44 (0) 1256 471441
	Eメール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com
1.4	緊急連絡用電話の番号	(00-1) 703-527-3887 CHEMTREC

2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1	物質または混合物の分類	
2.1.1	欧州CLP規則 (No.1272/2008)	皮膚腐食性 区分2; 皮膚刺激性。 皮膚感作性 区分1; 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 眼刺激性物質 区分2; 重大な目への刺激を引き起こす。 生殖毒性 区分1A; 胎児に害を与えるかもしれない。生殖性に害を及ぼす疑いあり。
2.1.2	指令67/548/EECおよび規則(1999/45/EC)	Xi; R36/38: 目および皮膚を刺激する。 R43: 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 Repr. Cat. 1; R61: 胎児に害を及ぼすことがある。 Repr. Cat. 3; R62: 受胎能力を減少させるリスクの可能性。
2.2	表示要素	欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば
	製品名	PL-8

改訂: 1.1 日付: 20.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

危険性を表す絵文字



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H315: 膚刺激性。
 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H319: 強い眼刺激。
 H360Df: 胎児に害を与えるかもしれない。生殖性に害を及ぼす疑いあり。

危険有害性情報

P201: 取り扱う前に特別の指示を受ける。
 P261: 粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける。
 P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。
 P302 + P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
 P305 + P351 + P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P309 + P311: 暴露したとき、又は気分が悪い時: 中毒センターまたは医師に連絡すること。

2.3 他の危険有害性

EUH205: エポキシ成分を含む。メーカーの情報を参照。

3. セクション 3: 組成/成分情報

3.1 物質 製剤/混合物中の物質

3.2 混合物

EC 分類 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	危険有害性情報
Bisphenol A Diglycidyl Ether	84	25036-25-3	-	皮膚腐食性 区分 2; H315 皮膚感受性 区分 1; H317 眼刺激性物質 区分 2; H319
Dibutylphthalate*	16	84-74-2	201-557-4	生殖毒性 区分 1 A; H360Df 水生環境有害性 急性区分 1; H400

改訂: 1.1 日付: 20.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	EC 分類 と リスク警句
Bisphenol A Diglycidyl Ether	84	25036-25-3	-	Xi; R36/38: 目および皮膚を刺激する。 R43: 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
Dibutylphthalate*	16	84-74-2	201-557-4	R61: 胎児に害を及ぼすことがある。 R62: 受胎能力を減少させるリスクの可能性。 N; R50: 水生生物に対して非常に有毒である。

* は、認可のための高懸念物質の候補リスト (REACH Annex XIV) に含まれています。

4. セクション 4: 応急処置



4.1 応急処置の説明

吸入

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

皮膚接触

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受ける。

目の接触

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

摂取

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。自然に嘔吐する場合は、頭部を腰の高さよりも低く保ち、肺に吸引しないようにしてください。患者に水を飲ませる。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。

4.2 最も重要な症状および作用 (急性および遅発性)

エポキシ成分を含む。メーカーの情報を参照。目と皮膚を刺激する。胎児に害を与えるかもしれない。生殖性に害を及ぼす疑いあり。

4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

知られていない。症状によって処置する。

5. セクション 5: 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。

不適切な消火剤

ウォータージェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がる可能性があります。

5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性

火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。

5.3 消防士へのアドバイス

消防作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。

6. セクション 6: 漏出時の措置

6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

適切な換気を確保する。蒸気の吸入を避ける。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。

6.2 環境的予防措置

排水路、下水道または水路に入らないようにする。

6.3 封じ込めと清掃のための方法および資材

流出物を砂、土または適切な吸収剤に吸収させる。廃棄用の容器に移す。この素材と容器は、危険廃棄物として廃棄すること。

6.4 他のセクションの参照先

次の項を参照: 8, 13

7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

7.1 安全な取り扱いのための注意事項

取り扱う前に特別の指示を受ける。安全上の注意を全て理解したうえで取り扱う。ヒュームの吸入を避ける。適切な換気を確保する。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行ってはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。

7.2 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)

適切な換気を確保する。

保管温度

常温の。

保管期間

普通の状態で安定。

混触危険物質

強い。酸類。強酸化物類。

7.3 具体的最終用途

PhotostressR 測定結果

8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

8.1 管理指標

8.1.1 職業暴露限度

確立されていない。

8.1.2 生物学的限界値

確立されていない。

改訂: 1.1 日付: 20.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

8.1.3 PNEC および DNEL

DNEL (Dibutylphthalate)	口	吸入	経皮
産業 - 長期 - 全身作用	-	4.17 mg/m ³	7.22 mg/kg bw/day
産業 - 短期間 - 全身作用	-	8.52 mg/m ³	-
消費者 - 長期 - 全身作用	0.22 mg/kg bw/day	0.62 mg/m ³	2.2 mg/kg bw/day

PNEC	Dibutylphthalate
水系	PNEC aqua (freshwater) 10 µg/L PNEC aqua (marine water) 10 µg/L PNEC aqua (intermittent releases) 10 µg/L PNEC STP 0.22 mg/L PNEC sediment (freshwater/marine water) 3.1 mg/kg sediment dw
土壌	PNEC soil 2 mg/kg soil dw PNEC 経口 104 mg/kg food dw

8.2 暴露管理

8.2.1 適切な工学的管理

適切な換気を確保する。職業暴露限度の規定に基づいて、空中濃度を管理しなければならない。UNRECOGNISED PHRASE

8.2.2 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置

必要な個人用保護具を使用する。再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。皮膚および目との接触を避ける。

目/顔面の保護



液体の飛沫から保護するため保護めがねを着用すること。側板付き保護めがね (EN166) を着用すること。きれいな水の入っている洗眼液の瓶を携帯する。

皮膚の保護



不浸透性手袋を着用すること。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。使用する手袋の種類は、作業の内容と時間および取り扱う物品の濃度/量に基づいて選択しなければならない。推奨: ブチルゴム, ニトリルゴム, ネオプレン, ポリ塩化ビニル(PVC)。

呼吸器の保護



適切な換気の無い場所では使用しないこと。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

熱の危険性

該当なし。

8.2.3 環境暴露コントロール

環境に排出しないようにする。

9. セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

外観

光。有色の液体。

におい

軽微な。芳香性の。におい

改訂: 1.1 日付: 20.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

臭いの閾値	資料なし。
pH	確立されていない。
融点/凝固点	資料なし。
初留点と沸騰範囲	200°C
引火点	204°C (Closed Cup)
蒸発速度	資料なし。
燃焼性 (固体、ガス)	非引火性。
上限/下限可燃性または爆発限界	該当なし。
蒸気圧	資料なし。
蒸気密度	資料なし。
相対密度	1.13 (H ₂ O = 1) (混合物。)
溶解度	不溶性。
分配係数: n-オクタノール/水	資料なし。
自然発火温度	該当なし。
分解温度	資料なし。
粘度	資料なし。
爆発性	資料なし。
酸化性	非酸化性。
9.2 その他の情報	なし。

10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性	普通の状態 で安定。
10.2 化学的安定性	普通の状態 で安定。
10.3 危険な反応の可能性	燃焼または熱分解により、有毒な刺激性蒸気が発生する。
10.4 避けるべき条件	熱、着火源及び酸化剤との接触を避けること。
10.5 混触危険物質	強い。酸化剤類。と硝酸塩類。強い。酸類。とアルカリ類。
10.6 危険有害性分解生成物	火災の時分解されて、有毒な煙を発生する: 一酸化炭素、二酸化炭素、とアルデヒド。

11. セクション 11: 有害性情報

11.1 毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)	
急性毒性	
摂取	分類されていない。
吸入	分類されていない。
皮膚接触	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 膚刺激性。

改訂: 1.1 日付: 20.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

目の接触	重大な目への刺激を引き起こす。
刺激性	眼刺激性物質 区分 2; 皮膚腐食性 区分 2 (Diglycidyl Ether of Bisphenol A)
腐食性	分類されていない。
感作性	皮膚感作性 区分 1; (Diglycidyl Ether of Bisphenol A)
反復投与毒性	生殖毒性 区分 1 A; 胎児に害を与えるかもしれない。生殖性に害を及ぼす疑いあり。(Dibutylphthalate)
発がん性	分類されていない。
変異原性	分類されていない。
生殖毒性	分類されていない。
11.2 その他の情報	なし。

12. セクション 12: 環境影響情報

12.1 毒性	海洋汚染物質として分類されていない。
12.2 残留性および分解性	成分の一部が生分解性である。
12.3 生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性がない。
12.4 土壌中の移動度	この製品は土壌中での移動性が低い。
12.5 PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6 その他の有害な作用	知られていない。

13. セクション 13: 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理法	この物質や容器は有害廃棄物として処理する。(2008/98/EC). 法律に従い、前処理後に仕かるべき危険廃棄物焼却施設に送ること。内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。
13.2 追加情報	なし。

14. セクション 14: 輸送上の注意

14.1 国連番号	ADR/RID / IMDG / IATA UN 3316
14.2 適切な船積み名	CHEMICAL KIT
14.3 輸送危険分類	9
14.4 輸送危険分類	III
14.5 環境に対する危険	なし。
14.6 使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2
14.7 MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。
14.8 追加情報	If transported as part of two epoxy reaction kit, otherwise not classified for transport

製品安全データシート



改訂: 1.1 日付: 20.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &
453/2010 によれば

www.vishaypg.com

拡張安全性データシート(eSDS) の付録

利用可能な情報なし。